

障がい者と家族 そのとき社会は

～『私宅監置』から100年 家族による監禁事件を考える～

『私宅監置』（自宅での閉じ込め、合法化された座敷牢）が発覚してから100年
昨今も家族が家族を監禁する悲しい事件（障がい者、高齢者など）が起きていま
す。

100年前の座敷牢を調査した、呉秀三氏の功績をたどる記録映画、

「夜明け前 呉秀三と無名の精神障害者の100年」を鑑賞し、家族を閉じ込め
る家族の背景、問題点、そのとき地域・社会はどうすべきか、一緒に考えてみま
せんか。



呉秀三著『精神病患者私宅監置ノ実況及び
其統計的観察』刊行100周年

今から100年前、精神病に有効な治療法がなかつた時代 座敷牢に幽閉された精神病患者を救おうと奔走した一人の男がいた！

日本精神衛生会・きょうされん提携事業

ドキュメンタリー映画監督 今井友樹/ナレーション 竹下恵子

日時：2020年3月7日（土）

場所：町田市生涯学習センター7階ホール 定員158名
(町田市原町田6-8-1 町田センタービル)

13時～16時 映画『夜明け前』上映とパネルディスカッション

【パネルディスカッション】進行：社会福祉法人ウィズ町田 理事長 小野 浩 氏

◇◇パネリスト◇◇

○家族による監禁など（家族の立場より）

植松 和光 さん

東京都精神保健福祉家族会連合会「みんなねっと」副会長

○高齢者、認知症の方を困らす問題（高齢者、認知症の方を支える制度や社会）

井上 美恵子 さん

町田市認知症友の会会長

○障がい者の方を社会に引き出す取り組みより

相原 純子 さん

元ひかり療育園 職員

●申込み＆問い合わせ：2月1日（土）午前9時から

☎受付 042-728-0071